

UEFI環境へインストールする場合の注意事項

UEFIは各PCメーカーの機種ごとに仕様が異なり、瞬間復元機能が正常に動作しない機種が存在します。本製品でUEFI対応のインストールタイプを3種類設けておりますが、どのインストールタイプでも瞬間復元機能が正常に動作しない機種は、レガシーブート(BIOS互換モード)の設定に切り替えてOSを再インストールいただく必要があります。以下に、UEFI環境へインストールする場合の注意事項を記載します。

1. チェックツールによる事前チェック

UEFI環境のPCに瞬間復元機能をインストールする場合、事前にチェックツールで適切なインストールタイプをご確認ください。チェックツールを実行するとPCが再起動され、次回ログイン時に適切なインストールタイプが表示されます。(※BIOS環境のPCにインストールする場合は、事前チェック不要です)チェックツールはインストールCD内のTOOL/InstallCheckフォルダ内にございます。チェックツールの使用方法については、同フォルダ内の「使用方法.txt」をご参照ください。

2. UEFI環境のインストールタイプ

瞬間復元機能のインストールタイプ(3種類)が選択でき、多くのUEFI機種で瞬間復元機能が動作するようになっております。事前にチェックツールでご確認いただき、実行結果がインストールタイプ1~3に該当しない場合は、OSをレガシーブート(BIOS互換モード)で再インストールしたうえで、瞬間復元機能をBIOS方式でインストール(インストール時のファームウェアの選択画面で[BIOS]を選択)してください。

| インストールタイプ | 留意事項 |
|---------------------------|---|
| インストールタイプ1 | — |
| インストールタイプ2 | 修復モードにすると、ブートデバイスに「Windows Boot Manager」が2つ登録されます |
| インストールタイプ3 | 以下の制限があります。 ✓ パーティション単位の保護はできません(設定できる管理方法はファイル・フォルダ単位のみとなります)。 ✓ 修復保留モードはご利用いただけません。 |
| その他(インストールタイプ1~3に該当しない場合) | OSをレガシーブート(BIOS互換モード)で再インストールする必要があります。 |

3. 誤ったインストールタイプを選択してエラーが発生した場合のリカバリー方法

誤ったインストールタイプを選択して修復モードにすると、瞬間復元機能が正常に動作していない旨のメッセージが表示される場合があります。この場合は、保護解除モードに動作モードを変更して、再インストールしなおし、適切なインストールタイプを選択してください。なお、瞬間復元機能がエラーの状態ではアンインストールはできません。事前に保護解除モードへの切り替えを行い、エラーが出ない状態で、アンインストールを行ってください。

4. インストールタイプ3を選択した場合の簡易環境設定画面の呼び出しについて

緊急時などの際、クライアントPC(UEFI / BIOS環境問わず)のコンピューター起動前に、簡易環境設定画面を起動できますが、インストールタイプ3の機種によっては簡易環境設定画面の呼び出し(OS起動前にPageUpキー押下)ができない場合があります。簡易環境設定画面の呼び出しができないPCでOSが起動できない等のトラブルが発生した場合は、WindowsのインストールDVDからPCを起動させ、bootrec.exe /FixMbr コマンドを実行することで保護解除モードへの切り替えができます。

5. UEFI環境のPCにおけるブート順について

UEFI環境のPCで瞬間復元機能が動作している場合は、ブートデバイスとして「XXXXXXXX BOOT」が登録されています。この「XXXXXXXX BOOT」からOSが起動されることで、瞬間復元機能が動作しますので、修復モード中に他のブートデバイスから起動させると、瞬間復元機能は正常に動作しません。意図せずブート順を変更されてしまうことを避けたい場合は、BIOSパスワードをかけるなどを行ってください。なお、インストールタイプ2の場合は「XXXXXXXX BOOT」の名前が「Windows Boot Manager」となりますので、オリジナルの「Windows Boot Manager」と合わせて2つが登録されます。

6. BCDBOOTコマンドによるNVRAMとBCDの同期について

UEFI環境にてPCをクローニングなどした場合、BCDとNVRAM内のブートエントリ情報に不整合が生じることがあります。この不整合が生じた状態では、瞬間復元機能は正常動作しません。これを回避するため、UEFI環境にてPCをクローニング後は必ず次のコマンドを実行してください。
bcdboot c:\windows /ja-jp